

2023 年度第 2 回日本地球化学会理事会 議事録

日 時 2023 年 9 月 20 日(水)13:00-16:55
場 所 東京海洋大学品川キャンパス 1 号館 208 号室
出席者 南 雅代, 鍵 裕之, 渋原 良浩, 石川 剛志, 大野 剛, 上野 雄一郎, 黒田 潤一郎,
下田 玄, 瀬戸 薫美, 高橋 嘉夫, 谷本 浩志, 中川 書子, 長島 佳菜, 福山 薫子,
古川 善博, 山口 保彦, 若木 重行, 川幡 穂高(監事), 山本 鋼志(監事)
欠席者 小畠 元, 飯塚 肇, 井尻 晓, 角野 浩史, 張 効, 丸岡 照幸
オブザーバ 鈴木 勝彦, 山口 瑛子, 板井 啓明

1. 審議事項

1.1 総会, 授賞式, 受賞講演のスライド(資料)と進行の最終確認

2023 年 9 月 22 日開催の総会及び授賞式・受賞講演の進行手順とスライド資料の確認が行われ, 承認された. また, 議事録署名人の候補として, 年会実行委員会委員の山中寿朗会員にお願いすることとなった.

1.2 次期理事会への申し送り事項

南会長より, 2021 年 9 月に受けた申し送り事項とその対応状況と, 現理事会から新理事会への申し送り事項が資料に沿って提案され, 承認された.

1.3 GJ の APC の学生会員割引

2023 年 12 月 31 日に Geochemical Journal (GJ) の Article Processing Charge (APC) の学生会員無料が終了し, 2024 年 1 月～2024 年 12 月投稿分の APC は学生会員も会員価格(5 万円)となるが, 学生会員の GJ への積極的な投稿を促すため, 学生会員からの希望があれば学会が補助する内容の提案がなされ, 承認された. 学会補助については, GJ の HP の投稿規程および学会 HP に記載し, 周知することとした.

1.4 GJ 論文制作費の値上げ

黒田会計幹事より, 2024 年 1 月からの GJ 論文制作費の値上げの提案があった. GJ 論文の制作, J-STAGE への搭載を委託している中西印刷株式会社より, 早期公開費を現在の無料から 3,000 円／論文(税別)にする内容である. GJ 編集委員長からのこれまでの中西印刷への委託業務の内容についての説明も踏まえ, 早期公開費について承認した. なお, 2024 年 1 月からの契約について, 他の業務の値上げの予定はないとの説明があった.

1.5 調達に関する規程

南会長より, 調達に関する規程が提案され, 承認された.

2. 報告事項

2.1 会長報告

- ・南会長より, 年会期間中に実施予定の学生懇親会に関するアンケート結果について説明があった.
- ・日本地球化学会には, Geochemical Journal, 地球化学誌以外の著作物に関する著作権ポリシーが制定されていない. 年会要旨, 学会 HP など学会が出した著作物を対象とした著作権ポリシーについて

て今後検討することを確認した。

- ・ GS board member に、日本地球化学会の会員 2 名, MOU を締結している中国鉱物岩石地球化学会, 中華民国地質学会, 韓国地質学会から各 1 名の合計 5 名を推薦したことが報告された.
- ・ 2024 年の年会開催地での公開講演会に関する科研費「研究成果公開促進費(研究成果公開発表 B)」(2024 年度), GJ 出版に関する科研費「研究成果公開促進費(国際情報発信強化)」(2024~2028 年度)に申請したことが報告された.
- ・ 次期理事会において庶務委員会を立ち上げ予定であることが報告された.

2.2 名誉会員推薦委員会報告

鍵名誉会員推薦委員会委員長より、現在の名誉会員は定員の 10 名であり、新たな推薦は行わなかつたことが報告された。

2.3 副会長報告

- ・ 鍵副会長より「地球化学」の教科書作成の進捗状況が報告された.
- ・ 浅原庶務幹事(小畠副会長の代理)より夜間集会のプログラムが報告された.

2.4 地球化学編集委員長報告

- ・ 浅原庶務幹事(代理)より、編集委員会開催予定(年会期間中), 企画総説・特集号企画の募集, 企画中の特集、「地球化学」の編集状況、今後の発行予定が報告された.
- ・ 年間発行回数の変更、印刷体の発行の見直しについて検討を開始することが報告された.

2.5 Geochemical Journal 編集委員長報告

- ・ 鈴木 GJ 編集委員長より、編集状況、発行状況、年会での学生論文賞および Most Cited Paper Award の表彰、Outstanding Reviewer Award の表彰、J-STAGE オンラインイベントでの発表について報告があった.
- ・ 査読者表彰、編集者表彰については、継続して議論することが報告された.

2.6 出版幹事報告

- ・ 丸岡出版幹事より、GJ 賞、GJ 学生論文賞、Most Cited Paper Award、Outstanding Reviewer Award の副賞の GJ APC 無料クーポン案が紹介された.
- ・ GJ APC 無料クーポンの発行リストを作成し、GJ 編集補助の方と共有することが報告された.

2.7 企画幹事報告

福山企画幹事より、年会の懇親会の式次第と 2025 年年会の開催校の選定状況が報告された。

2.8 広報幹事報告

浅原庶務幹事(代理)より、広報委員会の活動報告として、メーリングリストへの代理送信、ウェブサイト更新、ニュース発行、講師派遣、JpGU の学会ニュース記事掲載、Goldschmidt 2023 での広報活動、日本地球化学会の若手人材育成の取り組みに関する記事の「放射化学会誌」への寄稿について報告があった。

2.9 国際幹事報告

谷本国際幹事より、夜間集会において Goldschmidt 2028 国際会議招致について検討を始めることを説明し、意見交換を行うことが報告された。

2.10 庶務幹事報告

淺原庶務幹事より、次の 3 件の報告があつた。

- ・後援・共催依頼

2023 年度 NPO 地学オリンピック日本委員会 ／協賛

第 66 回粘土科学討論会 ／協賛

2023 年 9 月 12–13 日. 戦災復興記念館(宮城県仙台市).

日本腐植物質学会第 39 回講演会 ／協賛

2023 年 11 月 11–12 日. 創価大学 大教室 S202.

- ・NPO 地学オリンピック日本委員会より、協賛団体である本学会に「地球にわくわく未来ガイド」への広告掲載の案内があつた。丸岡理事に依頼し、昨年作成した広告を改訂したものを提出した。
- ・2022 年度鳥居・井上基金採択者 3 名の活動報告および会計報告が提出された。活動報告は学会 HP および 2023 年 12 月発行予定のニュースに掲載する。

2.11 2023 年 JpGU プログラム委員報告

2023 年 JpGU プログラム委員の若木理事より、2023JpGU において日本地球化学会共催の 8 つのセッションが無事に開催されたことが報告された。

2.12 庶務幹事報告

淺原庶務幹事(井尻 JpGU ダイバーシティ推進委員の代理)より、2022 年度 JpGU 事業報告と 2023 年度の事業計画に基づき、JpGU ダイバーシティ推進委員会の活動状況が報告された。

2.13 男女共同参画学協会連絡会報告

中川理事(連絡担当)より、2022 年 3 月 1 日のオブザーバ加盟以降の連絡担当者としての活動報告があつた。2025 年 11 月から正式加盟学会に自動移行すること、日本地球化学会が団体会員となるいる JpGU は男女共同参画学協会の正式加盟学会であること、日本地球化学会内へのダイバーシティ委員会の設置の必要性について意見が出され、今後理事会で検討することを確認した。